

全線開通前に 万全な対策は市の責任です

駒木交差点から柏へ抜ける道路

小田桐たかし市議は、3月議会で、駒木地区の安全対策を取り上げました。(裏面参照)

幹線道路『中駒木線』は、将来的には、流山セントラルパーク駅と運動公園におおたかの森駅・ショッピングセンターと駒木と柏市を結ぶ市内でも主要な道路の一つで、交通量は大幅に増加します。しかし、県道駒木交差点から東側、柏市へ通り抜ける道路は道路のアスファルトの厚さ(耐久性)も不十分。柏市境の交差点では事故も起きています。

歩行者や地域住民の交通安全を充実させ、駒木地区が安全安心のまちになるよう、一緒に力をあつめましょう。



---は建設中の幹線道路『中駒木線』。H28年1月に開通予定です。カスミ前交差点の右折信号設置なども市や警察に働き掛けています。



県議予定候補

矢田春代



市議

小田桐たかし

【2015.3月議会小田桐たかし市議の一般質問】

都市計画道路3・3・28号線中駒木線が県道豊四季高田原線まで
開通することにともない、駒木交差点を含め駒木地区の安全対策につ
いてお聞きします。

私は、都市軸道路と平行し、車でわずか数秒しか離れていない中駒
木線の市単独部分については、大型事業が相次いでいること、市財政
の現状、駒木地区の交通安全対策の必要性から一時凍結するよう提起
してきました。とりわけ駒木地区は、都市軸道路が暫定で開通した際
も、大きな事故で人命が奪われた悲しみを知っている地域であり、H
18年9月議会では、地域住民の陳情書が全会一致で採択され、住民・
自治会、議会、市行政が力をあつめて感应型信号機を設置させてきた
経験を有する地域です。当時は、「人の血が流れなければ安全対策が
進まない」とよく住民の方が口にしていたのを覚えています。二度と
こういう悲しみや怒り、行政への不信を抱かせてはいけません。

当局は私の指摘を聞かず、整備を続け、来年1月頃には完成予定の
はずですから、少なくとも安全対策に万全を期す責任があります。そ
こで伺います。27年度中には、中駒木線が県道豊四季高田原線まで
完成することに伴い県道の駒木交差点及び、中駒木線につながる駒木
地区の市道の交通安全対策はどこまで具体化されてきているのでしょ
うか。柏市との協議状況も含め、答弁を求めます。

【再質問】

人身事故はないというが、物損事故もないのか？また中駒木線と、
県道東側道路とはアスファルトの厚さ等が違うのではないのか？

【要望】

先日、事故があったと住民からお聞きしたし、現時点でも振動対策の
要望もある。道路が通ればどうなるかを先に見通し対策をうつなど、
2度と血が流れないと安全対策が進まないということがないよう要望
する。

【土木部長による答弁】（概要・要約）

中駒木線は、新市街地地区の接続点から県道豊四季高田原線までの
延長146mの道路改良をH27年度に予定している。

まず、県道と接続する交差点については、開通時期における安全性
等考慮した整備をするため、地元警察及び県警本部と協議をしました。
駒木交差点は、現在変形5差路となっていることから、北西側から進
入する市道279号線、南東方向から進入する市道38029号線は
交差点に接続させないように改良し、十字交差点として実施する計画
です。

次に、県道から東側にのぼる市道283号線は、現在幅員10～1
1mあり、両側に歩車道境界ブロックで分離された幅員1.5mの歩
道が設置されています。なお、さらに東側には柏市道2033号線
（幅員9m）に接続し、柏市道40054号線と交差しております。

市境部分の交差点については、柏警察に照会したところ、人身事故
はH26年～27年2月までの間はゼロと聞いています。

今後の安全対策については、交通量は増加するものと思われること
から、自治会や柏市と現場状況を確認しながら協議していきます。

【答弁概要】

物損事故は確認していません。道路舗装の更正は異なります。